

令和2年度 第1回軽米町総合教育会議 議事録

1 日時 令和2年5月18日(月) 午後2時30分から

2 会場 軽米町役場 2階第1会議室

3 出席者

- (構成員) 山本賢一 町長  
菅波俊美 教育長  
戸草内勝夫 教育長職務代理者  
兼田寿 教育委員  
関向玲子 教育委員  
紫葉守 教育委員
- (事務局) 大清水一敬 教育委員会事務局総括次長  
工藤薫 同 教育総務担当次長  
工藤祥子 同 生涯学習担当次長  
関向真介 同 指導主事
- (関係者) 川村憲弘 軽米小学校校長  
及川崇 同 副校長  
小田島誠一 小軽米小学校校長  
鹿糠博子 同 副校長  
八幡美奈子 晴山小学校校長  
菅原孝喜 同 副校長  
遠藤岳 軽米中学校校長  
五十嵐智 同 副校長

4 あいさつ〈町長〉

この総合教育会議は、町長と教育委員会が連携して町の教育行政に取り組むため、地域の教育課題やあるべき姿を共有し、様々な調整、協議ができるように進めてまいりたいと考えている。

協議事項は教育委員会事務局の主要事業と小中学校の運営方針について協議をお願いする。

5 協議事項

- (1) 令和2年度軽米町教育委員会の主要事業について
- (2) 令和2年度軽米町立小中学校の学校運営方針について
- (3) その他

## 6 協議内容

### (1) 令和2年度軽米町教育委員会の主要事業について

①学校教育について説明（担当次長）

②生涯学習について説明（担当次長）

主な質疑

〈委員〉 町内の小学校、中学校に数多くの支援員が配置され、大変有効であると聞いている。欠員補充の見通しはどうか。

→担当次長 継続して募集し、欠員解消に努めたい。

〈町長〉 学校における新型コロナウイルス感染症に関して補足の説明がほしい。

→担当次長 各学校には、マスク、手指の消毒液や次亜塩素酸水溶液を配布すると共に、感染予防についての基本的な取組を校長会議などで共通理解や情報交換に努めている。

〈町長〉 行事等は通常どおり行われているか。

→担当次長 学校の活動全てに感染予防を第一に運営しているが、行事も同様である。修学旅行は、小中学校ともに2学期に延期し、運動会や体育祭は内容を精選し参観者も限定し縮小開催の予定である。

→担当次長 社会教育施設、社会体育施設については、利用制限を行い屋内施設は町内のみ、屋外施設は県内のみ利用可能とし学校開放事業は行っていない。大会やイベントは、5月末まで中止または延期としている。

〈委員〉 岩手県では休業が少ないが、定められた授業日数や授業時数について緩和等の情報はるか。

→総括次長 新年度の休業は2日間であり、各学校とも指導計画を見直すなど回復に努めている。

### (2) 令和2年度軽米町立小中学校の学校運営方針について

〔設定時間 各校30分〕

#### ① 軽米小学校学校運営方針説明〔軽米小学校校長・副校長〕

主な質疑

〈委員〉 感染症の拡大による影響を心配しているが、本校の学力向上について考えを聞きたい。

→校長 今年度に入って2日間の臨時休業があったが、回復の手立てはとっており、影響は少ないといえる。ただ、どのような状況になっても対

応できるよう1日1日、1時間1時間を大切にし、見通しをもって指導するよう校内では話し合っている。校内研究会は予定通り進める。

〈町長〉 本町は、特にICTに力を入れてきたが、学校の中でより効果的なICTの活用法についてどのように考えているか。

→校長 11月には、ICT活用をテーマに学校公開研究会を予定している。全職員で、日常の授業実践の中で学力に結び付くようなICT活用を意識しながら研修を進めている。

〈町長〉 今後も広い視野でICTが使われてくるので、子ども達への指導をよろしく願いたい。

## ② 小軽米小学校学校運営方針説明〔小軽米小学校校長・副校長〕

### 主な質疑

〈町長〉 大変地域と密着した教育が目立つ。PTAの方々のご協力の状況はどうか。

→校長 PTA活動をはじめ、奉仕作業等の行事や学校行事などに、地域の方々を含めて、大変ご協力をいただき感謝している。

〈町長〉 学力向上や健全育成等地域と家庭との連携を取って進めており、良い実績を上げていると認識している。

→校長 健全育成については、出来る限り子ども達には地域活動に参加させ、私自身も参加して子ども達の活躍を認める機会を多くつくるよう努めている。また、「はなまるパートナー」など児童の学習の補助にも応援していただいで進めている。

## ③ 晴山小学校学校運営方針説明〔晴山小学校校長・副校長〕

### 主な質疑

〈町長〉 ICTの活用によって、子ども達の学力向上などどのようなことが期待されるか。

→校長 授業に集中して取組め、また自分がどこまでできたかを振り返れることに優れており、次の学びにつながっている。授業実践の中でさらに深めていきたい。

〈町長〉 新聞を活用した授業を行っているようだが、新聞では社会の情勢や新型コロナウイルス感染症対策など解説が掲載されている。これからの情勢やあるべき姿など子ども達に学ばせてほしい。

〈委員〉 新聞教育は、子ども達の発表力、考える力を育てていると思う。

→校長 新聞教育は、多様な記事に触れることで語意が増えるだけでなく読む力、書く力が高められる。また、興味関心や探求心が広がり、これまでの知識と一体となって思考の深まりも期待できる。全校の取組として進めていきたい。

④ 軽米中学校学校運営方針説明〔軽米中学校校長・副校長〕

主な質疑

〈委員〉 通学方法で徒歩が少なくスクールバスの割合が多いが、町周辺の子ども達が増えたためか。

→校長 町中心部の人数が減り、徒歩通学者をスクールバス利用者が上回ったものと見ている。

〈委員〉 数年前から郷土理解の学習に取組み、文化祭での発表もあった。子ども達が地域の活動から故郷を見つめ、自分たちの力で育んでいくことにもつながる。今後の指導に期待したい。

〈町長〉 郷土学習は非常に良いと思う。これから様々な分野に成長していく産業に、軽米町でも取組んでいる。高校とも連携しさらに育ててほしい。

○閉 会（17時）